

は じ め に

当研究所は、島根県における公衆衛生の向上と増進を図るため、環境保健、放射線環境対策、危機管理、地域保健に関する科学的・技術的な中核機関として「調査研究」「試験検査」「公衆衛生情報等収集・解析・提供」「研修」を四本柱として業務を推進しています。

特に、調査研究・試験検査業務においては、危機管理への対応が年々重要性を増してきています。保健の分野では昨年度ブタ由来の新型インフルエンザが全世界規模で発生し、これに対する検査体制の構築に努力をいたしました。環境分野の危機管理対応として、一昨年度に引き続いて発生した漂着ポリタンクの内容物の検査に加え、今年度は宍道湖・中海におけるアオコの大量発生及びこれに伴う異臭苦情対応として、原因物質の特定を行いました。今後も危機管理への対応を的確に行い、県民のニーズに応えられる試験研究機関として貢献できるよう努めていきます。

研究については宍道湖・中海等の水質保全調査、オキシダントや黄砂等の大気汚染調査、原子力発電所周辺の環境放射線調査等のモニタリングなどを行うとともに、宍道湖のカビ臭問題、食中毒や感染症など健康危機管理のための各種細菌・ウイルス等の調査、緊急時に備える放射線モニタリング等の調査研究を行い成果をあげています。本報告書は以上の危機管理対応、調査・研究活動の成果に関して平成21年度の実績をまとめたものです。是非ご一読いただきご意見・ご提言をお寄せいただくとともに、引き続き当所の業務についてご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

平成22年12月

島根県保健環境科学研究所

所 長 大 城 等